

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 5月31日現在

機関番号：32658

研究種目：基盤研究（B） 一般

研究期間：2008～2012

課題番号：20380023

研究課題名（和文） 国際社会における海外の日本庭園の意義と役割

研究課題名（英文） The Role and Significance of Japanese Gardens outside Japan in International Communities

研究代表者

鈴木 誠（SUZUKI MAKOTO）

東京農業大学・地域環境科学部・教授

研究者番号：40147484

研究成果の概要（和文）：本研究は日本国外の日本庭園を対象に、その全体像と国際社会における意義と役割を明らかにすることを目的とした。現在海外には450を超える公開日本庭園が存在し、その1/3以上が日本との友好交流（姉妹都市）に起因して造られている。このことから、東京農業大学国際日本庭園研究センターを設立し、今後の海外の日本庭園相互の情報交換をめざした国際的な団体の設立・運営支援を実施した。主要な研究成果は「海外の日本庭園」ホームページ（<http://www.nodaigarden.jp>）にて公開した。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was to clarify the role and significance of Japanese gardens open to the public outside of Japan in the international communities. We could count more than 450 Japanese gardens outside Japan, and more than the 1/3 of them were created through sister city affiliations with friendly cultural exchanges. Therefore, we founded the Center for International Japanese Garden Studies at Tokyo University of Agriculture and supported the establishment and operation of international organizations aiming at the exchange of information of mutual Japanese gardens outside Japan. Also we started the website "Japanese Gardens Outside Japan" (<http://www.nodaigarden.jp>) to supply the main research results of the study.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
2009年度	2,300,000	690,000	2,990,000
2010年度	2,400,000	720,000	3,120,000
2011年度	3,000,000	900,000	3,900,000
2012年度	2,600,000	780,000	3,380,000
総計	14,200,000	4,260,000	18,460,000

研究分野：造園学

科研費の分科・細目：農学 園芸学・造園学

キーワード：(1) 造園 (2) 日本庭園 (3) 海外の日本庭園 (4) 姉妹都市 (5) 国際交流
(6) ジャパニーズガーデン (7) Japanese Garden (8) 日本文化紹介

1. 研究開始当初の背景

「毎年10ヶ所以上の公共の日本庭園が世界各地に造られている。（過去20年平均）」

『「海外の日本庭園」調査報告書』（社団法人

人日本造園学会、2006年日本語版238p、2007年英語版260p。）が刊行され、世界中432ヶ所の公開日本庭園の実態が整理された。この報告は研究者らが中心となり実施し5年間

にわたる調査結果をまとめたものである。海外の日本庭園の全体像は明確になった。しかし、その存在意義と担うべき役割の詳細な検討には至っていない。そこで、既に収集した情報を、海外に日本庭園が構築される際の意義の観点から整理しなおし、それに追加調査による情報を加えることで、海外の日本庭園が担う役割を明確にし、管理・運営に関する具体的提言をまとめていくことを本研究の使命と考えた。

2. 研究の目的

『「海外の日本庭園」調査報告書』（日本造園学会、2006）により海外の日本庭園の概要と著名庭園の実態の概要が明らかになった。しかし、「なぜその日本庭園が必要で、どのように利用されているのか」、は明確になっていなかった。そこで「海外の日本庭園の存在意義と担うべき役割」について、明らかにすることを本研究の目的とした。

最終的には、この研究成果に基づき、海外の日本庭園の管理・運営の向上と、それぞれの庭園相互のグローバルネットワークの構築に資することを目指した。

3. 研究の方法

(1) 海外の日本庭園情報の追加・更新・整備
(社)日本造園学会「海外の日本庭園」調査・刊行委員会（2001年～2005年）によって収集蓄積し、研究者の下に保管されている世界各地の日本庭園に関する膨大な情報の再確認、追加、更新、再整理により、世界の公開日本庭園の情報のデータベースの構築。

① 既存データの再整理と更新。

② 重要な未調査庭園、新設庭園の情報収集と現地調査。

(2) 日本が関与して造られた日本庭園調査

日本政府が寄贈した海外の日本庭園のほか、友好都市・姉妹都市提携を理由として、諸外国の自治体に寄贈、あるいは支援・援助して造園された日本庭園の合計約170件について、基本情報（庭園概要調書）の追加修正を実施し、アンケート調査、電話や直接面接によるヒアリング調査を実施。

また、研究期間中の海外にて開催された国際園芸博覧会（花博）に出展された日本庭園についての現地調査。

(3) 海外で独自に構築された日本庭園調査

海外に独自に構築された日本庭園の中でも、その意義と役割が明確な日系人社会の日本庭園、日本との友好周年行事を研究期間中に迎えた国々の日本庭園を対象として現地調査を実施。

(4) 海外の日本庭園情報ネットワークの構築

海外において各種学会、シンポジウムなどで海外の日本庭園に関する研究成果を公表することにより、関連研究者等との連携関係

の構築。最終的に海外の日本庭園に関する情報交換を目指した、海外の日本庭園の情報ネットワークを構築。

4. 研究成果

研究成果の概要として、まず、21世紀になり既に10年を経過した近過去における日本庭園の世界的動向について、調査結果からそのトピックを年表としてまとめて考察した結果を整理した。

近年における世界の日本庭園ブームは年々拡大しており、日本庭園が新たに新設される国・地域の増加、既設日本庭園の修復や改修、日本庭園愛好団体や研究団体・個人の増加は著しく、日本国内で把握できる情報には限界があったが、近年の日本国外の日本庭園に関する世界的トピックを試み、以下のように整理した。

- ・ 開催が増えつつある国際園芸博覧会における日本国政府、自治体他出展の日本庭園
- ・ 国レベルでの「JAPAN 2001」のような国際的日本年や国交樹立周年行事等、様々な文化交流の一環としての日本庭園の造営（寄贈、援助、支援）
- ・ 海外の歴史的日本庭園の再発見、修復、公開の進展
- ・ 発展途上国、新興国における日本との友好記念庭園
- ・ Web サイト利用による日本庭園フォーラムの隆盛
- ・ アメリカ、英国など歴史的日本庭園を持つ国における日本庭園関連団体の設立、活性化
- ・ 日本庭園に関する国際シンポジウム開催
- ・ 外国人向け日本庭園の専門セミナー増加
- ・ 海外の日本庭園研究・研究者の増加
- ・ 海外の日本庭園に関する展示会の開催や専門書の刊行数の増加
- ・ 海外の様々な日本庭園（元王宮内日本庭園、強制収容所の日本庭園など）の研究進展
- ・ 日本とは異なる気候帯（寒帯～熱帯、砂漠気候）での日本庭園の造営
- ・ ODA や JICA の活動の一環としての日本庭園新設や修復
- ・ 日本国在外公館における日本庭園の増加
- ・ 国際的な資本家（資産家）個人邸宅の日本庭園の増加

このほか、海外の日本庭園の意義と役割に関しては以下のような研究成果を得た。

(1) 現代における海外の日本庭園の意義と役割については、姉妹都市を起因とした海外の日本庭園の多いことなどから、日本と諸外国との友好交流、日本文化紹介の拠点としての意義を見出した。しかし、その役割が十分に生かされていない点も把握した。

(2) 北米地域、特にアメリカは世界でも最も日本庭園が多いため北米の研究者との連

携、アメリカにおける日本庭園情報交換のプラットフォーム構築を目指し、調査と同時に研究成果の北米における公表を実施してきた。その結果、2010年に北米日本庭園協議会（本部ポートランド）の設立が実現し、この協議会が発展的に北米日本庭園協会（North American Japanese Garden Association, NAJGA）として2011年に発足し、2012年10月に第1回世界大会が開催された。この時に、日本庭園学会との連携協定の締結を支援した。

(3) 南米地域では、アメリカに次いで日系移民の多いブラジルについて現地調査を実施し、これまで不明な点が多かった移民社会ブラジルの日本庭園の全体像を把握した。

(4) オセアニア地域では、日本から寄贈・支援による日本庭園設置数の割合が極めて高いオーストラリア、ニュージーランドについて一部現地調査を含み全ての公開日本庭園への調査を実施し、友好・文化紹介の拠点としての意義を見出し、関連研究成果を公表した。

(5) アジア地域では特に近年日本庭園数増大の激しい中国、並びに友好100周年記念事業による日本庭園設置が増えたトルコにおいて現地調査を実施しその成果を公表した。特に、この2国に代表されるが、それぞれの国により日本との交流事情、国情の違いにより、日本庭園に求められる役割が異なることを確認した。トルコでは自国民の日本理解のために日本庭園が望まれ、中国では日本人・日系企業のために日本庭園が造られる傾向が認められた。

(6) ヨーロッパにおいては日本庭園設置が歴史的にも古いため、現地研究者との連携を進めつつイギリスにおける現地調査の実施、ヨーロッパの日本庭園の歴史的概要に関する研究成果、地中海沿岸地域における日本庭園の概要について、ヨーロッパにて開催された複数の国際会議にて発表した。また、英国に本拠をおき20年の歴史をもつ日本庭園協会（The Japanese Garden Society, UK）と情報交換を開始し、日本の日本庭園学会との連研究協定実現を支援中。

(7) 一連の調査研究、情報交換、情報ストックなどの社会発信を企図し、2012年研究者らの所属する東京農業大学に国際日本庭園研究センター（The Center for International Japanese Garden Studies）を設置した。

(8) これまでの研究成果の公開と、今後の継続した情報収集、そして海外の日本庭園相互の交流ネットワークのプラットフォームの一つとして運営することを企図した、ホームページ「海外の日本庭園 Japanese Gardens Outside Japan」（日英バイリンガル表記）を開設（2012年10月）し、随時最新の情報に更新して運営している。

URL: <http://www.nodaijarden.jp>

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計9件）

1. Makoto Suzuki (2011): Japanese Gardens of European Countries: a historical review, Proceeding of the European Council of Landscape Architecture Schools Conference 2011 in Sheffield, 95-96 (査読有)
2. 牧田直子, 服部勉, 鈴木誠 (2011): オーストラリアの日本庭園の歴史と現状に関する研究, ランドスケープ研究 74(5), 2011.03, pp365-368 (査読有)
3. Makoto Suzuki, N. MAKITA, Japanese Gardens Outside of Japan: as a symbol of international cultural exchange, Proceeding of the ECLAS Conference in Istanbul, 2010, 645-653 (査読有)
4. Naoko MAKITA, T. HATTORI, M Suzuki, et.al, The Feature and Role of Japanese Gardens in Australia through Cultural Exchanges, the 48th IFLA World Congress in Suzhou, Proceeding CD, 2010, Session No. 1 (査読有)
5. Wenjing LV, T. HATTORI, D. GE, M. SUZUKI, N. MAKITA, The Present Situation and Topics of Japanese gardens in the Middle and Eastern Parts of China, the 48th IFLA World Congress in Suzhou, Proceeding CD, 2010, Session No. 1 (査読有)
6. Hai-Ping LIN, K. CHANG, M. SUZUKI, A Century-old Historic Landmark Remains in Urban Landscaping the Taipei Guest House's Rear Garden, Proceeding of the 48th IFLA World Congress in Suzhou, Proceeding CD, Session No. 1 (査読有)

〔学会発表〕（計15件）

1. 鈴木誠 (2013)、国際社会における日本庭園研究組織の現状と課題 -NAJGA 北米日本庭園協会と JGS 英国日本庭園協会の活動を事例として、平成 25 年度日本庭園学会全国大会シンポジウム・研究発表資料集、20-25、ウィルあいち (名古屋市)、2013.6.8
2. 牧田直子・吉島由子・鈴木誠 (2013)、海外の日本庭園 -茶室、茶庭の現状について、平成 25 年度日本庭園学会全国大会シンポジウム・研究発表資料集、26-29、ウィルあいち (名古屋市)、2013.6.8
3. Makoto Suzuki (2013), Characteristics of Japanese Gardens by American in the USA, Abstract: International Seminar / Symposium of Landscape 2013, Global Campus Chiba, Graduate School of Horticulture Chiba University, 2013.3.18, p.68

4. 鈴木誠・服部勉・牧田直子 (2012) : 海外の日本庭園をめぐる近年の動向、平成 24 年度日本庭園学会全国大会研究発表会資料集、32-35、東京農業大学世田谷キャンパス、2012. 6. 9
5. 鈴木誠 (2012)、海外の桜名所研究～「海外の日本庭園研究」を踏まえたランドスケープ研究対象としての考察～、平成 24 年度日本造園学会関東支部大会事例・研究報告集、第 30 号、33-34、筑波大学、2012. 11. 24
6. Naoko MAKITA, M Suzuki, T. HATTORI (2012), Japanese Gardens through Sister Cities, NAJGA Conference 2012, Denver 2012. 10. 12、USA (査読有)
7. Konstantina STARA, Makoto SUZUKI (2011), Japanese Gardens in the Mediterranean Countries, 48th IFLA World Congress, Proceedings 324 (査読有) 2011. 6. 28, Zurich, Switzerland
8. 鈴木 誠、国際社会における海外の日本庭園の評価— 試論的考察、日本造園学会関東支部大会事例・研究報告集 第 27 号、6-7、2009. 10. 17、明治大学駿河台校
9. Makoto Suzuki, Japanese Gardens of the Americas, The 53rd International Congress of Americanist, The Universidad Ibero-americana, 2009. 7. 21, Mexico City, Mexico (査読有)
10. Makoto Suzuki, Evolution of Japanese Gardens: Japanese Gardens Outside of Japan, International Conference on Japanese Gardens outside Japan, 2009. 3. 27, California State University, Long Beach, USA
11. 鈴木 誠、国際社会における海外の日本庭園の意義と役割—研究の構想と目的—、日本造園学会関東支部大会事例・研究報告集 第 26 号、1-2、東京大学農学部、2008. 10. 11

[図書] (計 1 件)

1. Makoto Suzuki (supervision), Japan-U. S. Cherry Blossom Centennial Executive Committee ed. (2013), The Cherry Blossom Trees of the Arakawa and Potomac Rivers, Tokyo University of Agriculture Press, 30p.

[その他]

1. 東京農業大学国際日本庭園研究センター (代表 鈴木誠、2013)、研究成果データベース (ホームページ)、「海外の日本庭園 Japanese Gardens Outside Japan」(日英表記) URL: <http://www.nodaigarden.jp>
2. 東京農業大学国際日本庭園研究センター (代表 鈴木誠)、「海外の日本庭園」に関する総括的情報ウェブサイトの構築と運営、2012 年度 KDDI 財団 社会的・文化諸活動助成、2013

年 3 月 29 日

3. 鈴木誠 (2010) : 【蒼林】国際市民社会における日本庭園 —庭園の市民化へ向けた“シビックガーデン”の展開—、東京と緑、No.176、2010 年 4 月 30 日号
4. 鈴木誠 (2010)、世界に広がる「ジャパニーズガーデン」、造園連新聞第 1076 号、(社)日本造園組合連合会、2010 年 1 月
5. Makoto Suzuki (2009), Keynote Speech: Evolution of Japanese Gardens, The International Conference on Japanese Gardens Outside Japan, California State University, Long Beach, 2009. 3 (Conference DVD 6vol. 'International Conference on Japanese Gardens Outside Japan' Vol. 1, Charles Lauren Films, 2009)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

鈴木 誠 (SUZUKI MAKOTO)
東京農業大学・地域環境科学部・教授
研究者番号 : 40147484

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者

赤坂 信 (AKASAKA MAKOTO)
千葉大学・園芸学部・教授
研究者番号 : 30143267
服部 勉
東京農業大学・地域環境科学部・准教授
研究者番号 : 70277242
内田 均 (UCHIDA HITOSHI)
東京農業大学短期大学部・その他・准教授
研究者番号 : 00151887

(4) 研究協力者

牧田 直子
東京農業大学・地域環境科学部・造園科学科特別研究員
研究者番号 : なし